

平成24年度 入学試験問題

社 会

第 3 回

|||||【注 意】|||||

試験時間は理科とあわせて60分です。(11:10～12:10)

問題は1ページから8ページまでです。

解答はすべて解答用紙に記入してください。

解答用紙に受験番号、氏名を記入してください。

|||||



洗足学園中学校

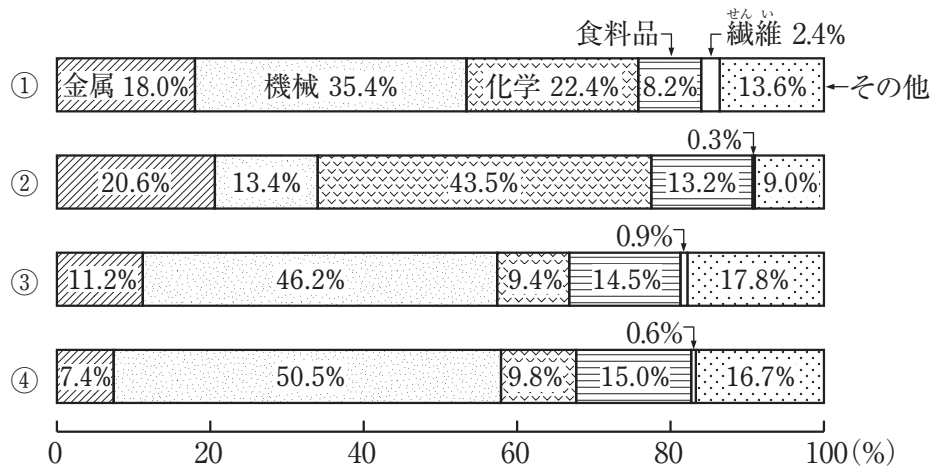
1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

1960年代、日本は高度経済成長期とよばれる時代をむかえました。戦前から発達していた四大工業地帯のほか、鉄鋼・自動車・造船などの重化学工業を主体として、新たに (ア) 各地の工業地域が成長し、(イ) 太平洋沿岸とその周辺を中心に日本の工業は発展しました。また、1960年代におきた (ウ) エネルギー革命により、主要なエネルギー源が (工) から (オ) へと変わりました。このような工業の発展にともない、国民の生活水準は上昇しました。そして、日本は世界的にも、いわゆる「先進国」とよばれるようになりました。

しかし、この工業や経済の発展にともない、多くの社会問題が生じていました。工場などからの排出物が人体の健康に影響を及ぼし、(カ) 四大公害病をはじめとする公害問題が生じ、現在も後遺症に悩まされている人々が多くいます。また、(キ) 農業と他の産業との所得格差が大きくなり、(ク) 農村部から都市部へ移動する人が増え、農村部の過疎化が進みました。

問1 下線部 (ア) について、次の [資料] は、関東内陸工業地域、京葉工業地域、東海工業地域、瀬戸内工業地域の業種別出荷額の割合を示したものです。このうち京葉工業地域の割合を示したものを、次の①～④の中からひとつ選んで番号で答えなさい。

[資料]



(『日本国勢図会2011/12年版』より作成)

問2 下線部 (イ) に関連して、東北地方の太平洋沖は、世界的にも好漁場として知られています。その理由を、自然的条件の観点から文章で説明しなさい。

問3 下線部(ウ)に関連して、近年、自然エネルギー(再生可能エネルギー)が注目されています。自然エネルギーについて述べた文として誤っているものを、次の①～④の中からひとつ選んで番号で答えなさい。

- ① 風力発電は、環境への影響が比較的ひかくてき小さいが、立地条件の問題などがある。
- ② バイオマス発電とは、人間や動物の排泄物の発酵はいせつぶつ はっこうにより発生するメタンガスなどを利用するものである。
- ③ 地熱を利用しての発電は、日本では全くおこなわれていない。
- ④ 太陽光発電は、ソーラーパネルを利用して発電するものであるが、天候に左右されるなど発電量が不安定な面が課題である。

問4 空欄らん (工)・(オ)にあてはまるエネルギー資源の組み合わせとして最もふさわしいものを、次の①～⑥の中からひとつ選んで番号で答えなさい。

- ① (工) - 石油 (オ) - 石炭
- ② (工) - 石油 (オ) - 天然ガス
- ③ (工) - 石炭 (オ) - 石油
- ④ (工) - 石炭 (オ) - 天然ガス
- ⑤ (工) - 天然ガス (オ) - 石油
- ⑥ (工) - 天然ガス (オ) - 石炭

問5 下線部(力)に関連して、A・Bそれぞれの問いに答えなさい。

A 次の【資料】は四大公害病についてまとめたものです。【資料】中の空欄 X・Y にあてはまる河川をそれぞれ漢字で答えなさい。

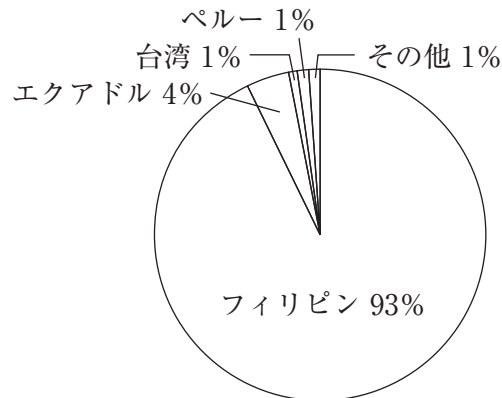
病名	発生地域	原因物質
水俣病	熊本県水俣湾沿岸地域	有機水銀(メチル水銀)
第二水俣病	新潟県 X 流域	有機水銀(メチル水銀)
四日市ぜんそく	三重県四日市市	ありゅうさん 亜硫酸ガス
イタイイタイ病	富山県 Y 流域	カドミウム

B 日本の環境政策について述べた文として正しいものを、次の①～④の中からひとつ選んで番号で答えなさい。

- ① 1960年代に制定された公害対策基本法は、現在でも環境政策の中心となっている。
- ② 環境アセスメントについて規定された法律は、日本ではまだ制定されていない。
- ③ 現在、循環型社会じゅんかんを形成していくために、いわゆる「3R」とよばれる取り組みがおこなわれている。
- ④ 1970年代に環境政策を一元的あつかに扱う環境省が設置された。

問6 下線部(キ)に関連して、次の【資料】は「ある果実」の日本の現在の主な輸入先を示したものです。この果実を答えなさい。

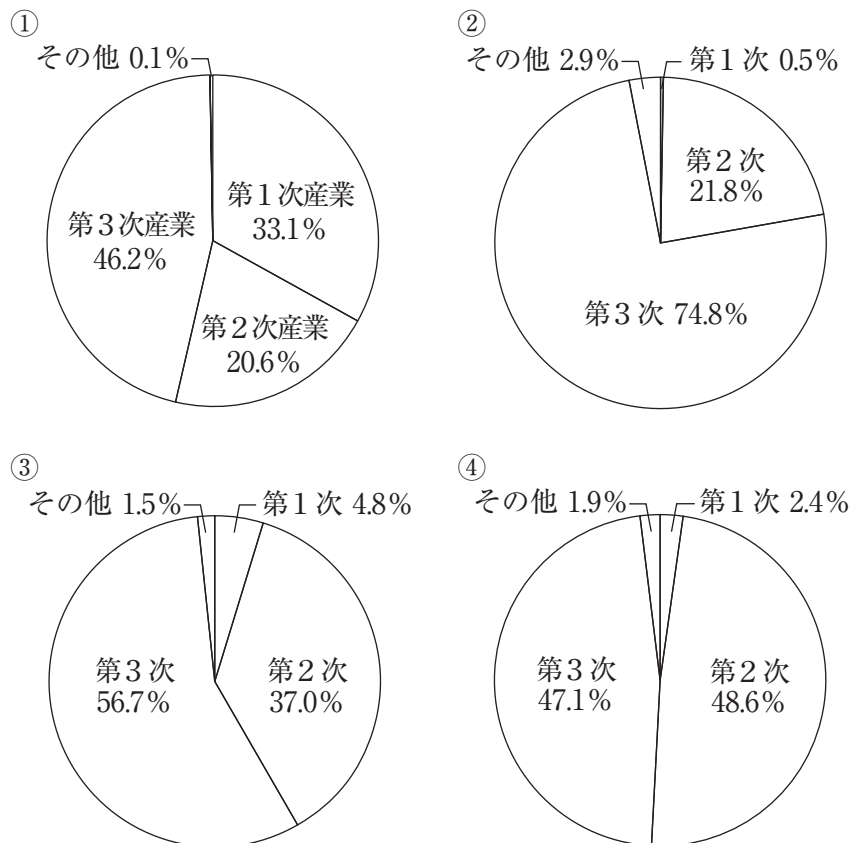
【資料】



(『日本国勢図会2011/12年版』より作成)

問7 下線部(ク)に関連して、次の【資料】は、つがる市、横浜市、浜松市、豊田市の産業別就業者割合を示したものです。このうち横浜市の割合を示したものを、次の①～④の中からひとつ選んで番号で答えなさい。

【資料】



(『データでみる県勢 2012年版』より作成)

2 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

江戸の町は、非常に多くの人々が住みながら、快適な環境を保っていたといわれています。その理由のひとつには、江戸では、いわゆる資源のリサイクルがおこなわれていたため、比較的 (ア) ごみの量が少なかったことがあげられます。現在に比べて「もの」が貴重だったこともあり、江戸の人々は、多くの生活必需品を、修理を重ねながら長く使っていました。修理が必要になったものは、家々をまわって修理をおこなう職人に託される場合もありました。それらの職人には、割れた茶わんなどを修理する瀬戸物焼き接ぎ、すり減った下駄の歯を交換する下駄の歯入れ、(イ) 鉄のなべなどの金属製品を修理する鑄かけなど、さまざまな職人が存在していました。それでも修理できないものは回収業者が買い取りました。着物は古着屋、紙は紙くず買い、(ウ) 傘は古傘買いというように、不用品の買い取りにもそれぞれ専門の回収業者がいました。ろうそくのしずくや灰にも専門の買い取り業者がいたほどです。人々の排泄物も貴重な肥料として買い取られ、農村に運ばれました。

江戸の庶民の多くは、長屋とよばれる (エ) 木造の集合住宅に住み、井戸やごみ置き場は共同で使用していました。ときには火事や (オ) 疫病に悩まされたりもしました。また、この時代の日本における識字率は比較的高く、江戸時代では民衆への (カ) 教育が普及していたことがわかります。

問1 下線部 (ア) に関連して、縄文時代に多く見られる、捨てられたものが堆積して層をなしている遺跡を漢字で答えなさい。

問2 下線部 (イ) に関連して、A・Bそれぞれの問いに答えなさい。

A 鉄やその加工品について述べた文として正しいものを、次の①～④の中からひとつ選んで番号で答えなさい。

- ① 縄文時代に、鉄器が青銅器とほぼ同時に日本列島に伝えられた。
- ② 弥生時代前期の稲作においては、稲の根刈りが主におこなわれ、鉄鎌が用いられた。
- ③ 鉄製の刀剣は、日宋貿易における中国からの主要な輸出品のひとつであった。
- ④ 筑豊炭田の活用を意図して、北九州に官営の八幡製鉄所を設立し、ドイツの技術が導入された。

B 太平洋戦争直前、欧米諸国との対立を深めた日本では、鉄や石油などの資源が手に入りにくくなっていました。この頃の情勢について述べた文として正しいものを、次の①～④の中からひとつ選んで番号で答えなさい。

- ① 日独伊三国同盟を締結した日本に対して、アメリカはくず鉄の対日輸出禁止を決定した。
- ② 日ソ中立条約を締結した日本に対して、ドイツは航空機用ガソリンの対日輸出禁止を決定した。
- ③ 盧溝橋事件勃発を機に、日本に対して、イタリアはくず鉄の対日輸出禁止を決定した。
- ④ 満州事変勃発を機に、日本に対して、アメリカは航空機用ガソリンの対日輸出禁止を決定した。

問3 下線部（ウ）に関連して、武士の中には内職として傘の修理をする者もいたといわれています。江戸時代後期に武士たちが困窮した背景のひとつについて述べた文として正しいものを、次の①～④の中からひとつ選んで番号で答えなさい。

- ① 幕府や藩の収入の中心であった商人からの税の徴収が滞っていたため。
- ② 江戸時代後期は、改易された大名が江戸時代を通じて最も多かったため。
- ③ 開国後の貿易の影響によって、江戸において物価が急激に下がっていったため。
- ④ 商品貨幣経済の進展が、米などの現物を基盤とする封建社会にそぐわなくなったため。

問4 下線部（エ）に関連して、日本の木造建築物について述べた文として誤っているものを、次の①～④の中からひとつ選んで番号で答えなさい。

- ① 校倉造の正倉院宝庫には、聖武天皇の残した宝物などが収納されている。
- ② 平安時代の貴族の邸宅は寝殿造とよばれ、ふすまには大和絵が描かれた。
- ③ 東大寺南大門は、中国から伝わった唐様の建築様式である。
- ④ 東山文化に代表される書院造は、和風の住宅の原型となった。

問5 下線部（オ）に関連して、A・Bそれぞれの問いに答えなさい。

A 近代的な医学が発達する以前は、疫病が起これと、人々は宗教などの力によって、その流行を鎮めようとして、日本における宗教について述べた文として誤っているものを、次の①～④の中からひとつ選んで番号で答えなさい。

- ① 12世紀後半、ひたすら念仏を唱えることで救われるという、浄土宗が開かれた。
- ② 16世紀にキリスト教が伝わると、大名の中にもキリスト教に改宗する者があらわれた。
- ③ 江戸時代になると、寺請制度が設けられた。
- ④ 五榜の掲示では、信教の自由が認められた。

B 江戸時代には、天然痘除けの錦絵に、保元の乱で敗れた「鎮西八郎為朝」が描かれました。この乱で勝利した天皇を漢字で答えなさい。

問6 下線部（カ）に関連して、A・Bそれぞれの問いに答えなさい。

A 江戸時代の庶民の子どもたちが、いわゆる「読み」「書き」「そろばん」を習った施設を漢字で答えなさい。

B 明治時代の教育について述べた文として最もふさわしいものを、次の①～④の中からひとつ選んで番号で答えなさい。

- ① 学制が定められ、各地に学校がつくられた。
- ② 身分秩序を重んじる朱子学が盛んになった。
- ③ ドイツ人シーボルトが鳴滝塾で医学と蘭学を教えた。
- ④ 民主的な教育方針が示され、義務教育は9年間とされた。

- 3 わたしたちは、毎日の暮らしの中で水を飲み、炊事や洗濯をし、入浴し、トイレを利用します。わたしたちが生きる上で必要不可欠な「水」とそれを取りまく諸問題について、あとの問いに答えなさい。

問1 2010年に日本の国会で公共利用のための水域と、地下水の水質汚濁の防止を目的とする「水質汚濁防止法」の改正案が成立しました。成立までの経過について述べた文として誤っているものを、次の①～④の中からひとつ選んで番号で答えなさい。

- ① この法律の改正案は、国会議員ではなく内閣によって作成され、衆議院に提出された。
- ② この法律の改正案の審議は、まず衆議院に設置されている環境委員会でおこなわれた。
- ③ この法律の改正案の審議は、毎年1回、1月に召集される常会でおこなわれた。
- ④ この法律の改正案は、参議院で否決されたので、直ちに衆議院の議決が国会の議決となった。

問2 日本は、世界的に見ると比較的降水量が多く、豊富な水資源に恵まれてきた一方で、次々と起こる洪水や土砂崩れなどの自然災害の被害を受けてきました。このような自然災害などの被害を防ぐために、川幅を広げたり、堤防を築いたりする仕事をおこなっている省庁を漢字5字で答えなさい。

問3 水の確保や洪水防止のためのダム建設によって、環境が破壊されたり、住民の生活の場が奪われたりすることがあります。そのため、ダム建設の賛否を問う住民投票条例の制定を求める直接請求が各地でおこなわれてきました。条例成立までの流れについて述べた文として正しいものを、次の①～④の中からひとつ選んで番号で答えなさい。

- ① 有権者の50分の1以上の署名を集めて首長に請求し、議会で出席議員の過半数の賛成があれば住民投票条例が成立する。
- ② 有権者の50分の1以上の署名を集めて首長に請求し、議会で出席議員の3分の2以上の賛成があれば住民投票条例が成立する。
- ③ 有権者の3分の1以上の署名を集めて首長に請求し、議会で出席議員の過半数の賛成があれば住民投票条例が成立する。
- ④ 有権者の3分の1以上の署名を集めて首長に請求し、議会で出席議員の3分の2以上の賛成があれば住民投票条例が成立する。

問4 国際連合では、1997年に「国際水路の非航行利用に関する条約」を採択しましたが、日本はこの条約にまだ批准していません。もし、この条約を日本で批准する場合にとらなければならない、日本国憲法上の規定について述べた文として誤っているものを、次の①～④の中からひとつ選んで番号で答えなさい。

- ① 条約の承認についての議事を国会でおこなう場合には、両議院それぞれの総議員の3分の1以上の出席が必要である。
- ② 条約の承認について、両議院がそれぞれ異なる議決をした場合は、両院協議会を必ず開かなければならない。
- ③ 内閣は、緊急の場合、国会が承認する前に条約を締結することができ、この場合には締結後に国会の承認を経る必要もない。
- ④ 条約の公布は、憲法改正や、法律、政令の公布と同じく、内閣の助言と承認によりおこなわれる天皇の国事行為である。

問5 「児童の権利に関する条約（子どもの権利条約）」では、清潔な飲料水の供給を通じて、児童の健康を享受する権利の確保に努めなければならないと明示されています。この条約の普及活動をおこなっている国際連合の機関の略称として最もふさわしいものを、次の①～④の中からひとつ選んで番号で答えなさい。

- ① UNICEF ② WHO ③ UNESCO ④ FAO

問6 東アフリカのソマリアなどでは、深刻な干ばつと内戦により自国で生活することが困難で、他国に逃れている人が多くいます。このような人々は一般的に何とよばれていますか、漢字2字で答えなさい。

問7 次の【資料】に関連して、A・Bそれぞれの問いに答えなさい。

【資料】 各国の2000年から2005年にかけての1人あたりの水利用量とその用途
(単位:m³/人)

	総利用量	生活用水	<input checked="" type="checkbox"/> 用水	工業用水
日本	693	136	433	124
アメリカ合衆国	1654	210	682	761
オーストラリア	1226	180	923	123
中華人民共和国	485	32	329	125

(『水の世界地図 ―― 刻々と変化する水と世界の問題』2010より作成)

A 【資料】中の空欄 にあてはまる語句を漢字で答えなさい。

B 日本は、生活に必要な水を全て自国でまかなうことができますが、一方で、アメリカ合衆国やオーストラリア、中華人民共和国の水を大量に利用しているともいわれています。その理由を文章で説明しなさい。